



風土に

はぐくまれた感性

阿南の春はお遍路さんの鈴の音とともにやってきました。那賀川の水も緩み始める頃に、出会うお遍路さんの姿は、早春の風物詩です。

阿南の魅力力を宮沢賢治の言葉借りて表現するとこのようになります。



那賀川町 杉本 由美子さん

まれた風土の中ではぐくまれたことにより豊かな感性を身に付けることができました。とても幸福なことだと感謝しています。

昨年東京に住む友人と那賀川の堤防を歩いていたら、美しい山並みを背景にした那賀川橋を見て「JRが『デイスカパー・ジャパン』の大キャンペーンを行った時に、東京駅に張られていた徳島の隠れた名所案内のポスターの風景だわ。ずっと見たいと思っていたの。感激！」と言ってくれました。私はあまりのうれしさに胸がいっぱいになりました。

「砂糖菓子をはしいくらい持たないでも、綺麗な透き通った風を食べ、桃色の美しい朝の日光を飲むことができます」

詩人や宗教家は故郷の風土の中で鋭い感性を磨き、感覚的な情念を得ました。石川啄木は山に。親鸞は雪に。宮沢賢治は空に。宇宙の中で生かされて生きている人間の姿を見ていました。私も阿南の恵

人の心は時とともに変わっていきますが、大自然はいつまでも変わることなく私を優しく包んでくれます。お接待の心と自然美が融合した阿南で、もっともつと感性を磨きたいと思っています。

俳句

目薬の一滴にあるそぞろ寒

阿南市俳句連合会選

長田 千津

短歌

阿南市文化祭短歌大会選

立秋を過ぐれば渡る一瞬の風に爽やか秋の気配が

佐々木夫美

砂漠ゆく駱駝のような吾の背が窓に写りて安泰告げる

榎原 和子

母よりの何にも勝る贈りもの健やかに吾が今日を生きいる

勢井 恒子

さそり座が南の空に這う葉月ひかり幽し眸を凝らす

程野 茂

二才より孫専用の沓脱ぎ台造りしわれの背越え役終う

小松サワエ

病室の玻璃戸に夜ごとカエル来て見舞いくるるや楽しみ待つ

青木新太郎

生き字引 姐御肌なるわが友のほほえむ顔に花を捧ぐも

川柳

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

寒の入り指に伝わる痛さかな
冬ぬくし気ままに老いの畑仕事

稲村 耕作
多田 秀子

成人の日街に新たな匂いあり

表原 榎
柏 孝則

産土の杜にて拝む初日の出

鎌田 秋穂

一湾の養殖ブイや寒風げ

横井 知昭

目標の減量未だ年越せり

藤田 慶子

就職の孫の居場所を地図探る

森岡 美風

ボケ封じ作句の孕春春隣

藤本 絹代

土手走る球児の声や春近し

臣守 愛香

夜神楽の記憶の中に亡母の膝

滝川 太郎

気忙しいことを話して小半日

湯浅 三子

家事育児せわしい母の日記帳

田上 鶴子

今新た七十代の出発だ

武田 敏子

お誘いにまごつきだしたスニーカー